

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.91)

## 1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、安全操業によりPCB廃棄物処理を継続しており、10月の処理実績は下表のとおりです。

10月18日(火)三重県四日市の保管者から大型トランス(総重量7,800Kg)が搬入されました。写真は搬入受入の様子と点検・清掃のために清掃解体室に取り込む様子です。

今後も安全第一でPCB廃棄物処理作業に取り組んでまいります。

平成23年10月の操業実績

| 種 別    | 受入台数  | ライン投入台数 |
|--------|-------|---------|
| コンデンサ類 | 174 台 | 583 台   |
| トランス類  | 大 型   | 5 台     |
|        | 小 型   | 18 台    |
|        | 車 載 型 | 3 台     |
| 廃PCB等  | 0 個   | 0 個     |
| 保管容器   | 0 個   | 0 個     |

※受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数とライン投入台数に差が生じます。



大型トランス受入の様子



大型トランスを清掃解体室へ移動する様子

## 2. PCB廃棄物の11月の受入計画について

平成23年11月の受入計画(予定)

| 種 別    | 受入台数  |     |
|--------|-------|-----|
| コンデンサ類 | 216 台 |     |
| トランス類  | 大 型   | 0 台 |
|        | 小 型   | 0 台 |
|        | 車 載 型 | 0 台 |
| 廃PCB等  | 0 個   |     |
| 保管容器   | 0 個   |     |

11月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、愛知県内の事業者から56台、静岡県内から115台、三重県内から45台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類、車載型トランス、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)、保管容器の受入予定はありません。

11月は定期点検による操業休止のため、受入を抑制します。

## 3. 少量保管事業者に対する説明会の開催について

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

10月5日に静岡県富士市を対象に説明会を実施し、合わせて47社の事業者の方々にご出席いただきました。説明会では、平成24年4月～平成24年6月の重点搬入期間に向けて、受入までに進めていただく契約諸手続き、事業者間の積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、少量保管物にも配慮したPCB廃棄物の処理を継続してまいります。



10/5 静岡県富士市での説明会の様子

## 4. 安全セミナー開催について

豊田施設では、1年かけてJESCO、運転会社全社員を対象として、豊田事業所再生計画に基づく安全セミナー（設計思想等の再教育）を実施しています。

10月度は、第17回「SDの取扱いについて」、第18回「液処理設備」をテーマにして安全セミナーを開催しました。

SD（金属ナトリウム分散体）とはPCBの脱塩素化無害化処理に使用される反応薬剤ですが、絶縁油中に10ミクロン以下の微粒子状金属ナトリウムを分散させたもので、今回のセミナーで改めてその危険性や取扱い時の注意点などを学びました。

また、液処理設備は、PCBとSDとを反応させて脱塩素化無害化する設備で、コンデンサ油、トランス油、洗浄濃縮油、及びPCB油がどのような工程で無害化処理されるのかなどを学びました。

今後も月2回のペースで安全セミナーを予定しています。



第18回安全セミナーの様子

## 5. PCB廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会開催について



豊田事業部会の様子

10月5日、豊田施設において日本環境安全事業株式会社PCB廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会（主査：田中勝 鳥取環境大学教授）を開催しました。

今回の部会は、本年8月30日に発生したポリタンクのひび割れによるPCB含有廃液の漏洩に関する経緯を報告するとともに、今後のポリタンクの管理方法等、豊田事業所が検討した対策内容を説明しました。

委員の方々から、ポリタンクのひび割れが再発した場合の対策を考える必要があるとともに、ポリタンクでの保管期間を短くすることがリスクを下げる方法である等の安心・安全の処理に向けた貴重な意見をいただきました。

豊田事業所では、いただいた意見を踏まえ、再発防止に向けてしっかりとした対策を実施してまいります。

## 6. PCB漏洩機器補修事例説明会の開催について

10月12日、豊田施設においてPCB漏洩機器補修事例説明会を開催しました。

説明会は保管現場で漏洩機器を補修する機会が多い収集運搬事業者を対象に行われ、15社の収集運搬事業者が参加しました。現在、保管現場で漏洩が認められる機器は現地補修を実施した上で収集運搬を実施しています。漏洩の原因は長期間の保管中の劣化によるもので補修対象箇所は多岐にわたっていますが、より安全で確実な補修が実施できるよう参考事例を交え、補修方法についての説明を行いました。

今後もPCB廃棄物が安全に収集運搬されるよう取り組んでまいります。



PCB漏洩機器補修事例説明会の様子

### 問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社（JESCO） 豊田事業所 0565-25-3110  
【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>